

令和7年度

要 覧

みんなをつなごう みらいをつくろう



学習・体験・交流の広場

福岡県立社会教育総合センター

目次

基本方針と重点目標 … 1

沿革 …………… 2

施設概要

1 建築概要 …………… 3

2 施設設備 …………… 3

3 利用案内 …………… 6

4 利用料金 …………… 7

5 福岡県視聴覚ライブラリー … 8

組織・機構・職員 …………… 9

令和7年度事業計画 … 10

令和6年度実績

1 事業 …………… 12

2 学習相談状況 …… 15

3 家庭教育相談 …… 16

4 施設の利用状況 … 18

野外施設配置図 …… 20

基本方針と重点目標

1 基本方針

福岡県立社会教育総合センターは、少年自然の家を併設する本県の社会教育推進の中核施設として、市町村や民間団体等の社会教育の振興を図るとともに、ふくおかの未来を担う子どもの育成に努めます。

2 重点目標

(1) 県民の学習活動支援

- ① 施設の利用促進、施設利用者や社会教育、体験活動に関心のある者のための学習活動支援の充実等、学習の機会・場の拡充に努めます。
- ② 社会教育や家庭教育等に関する調査、データの収集・提供等の充実に努めます。
- ③ ICT等を活用した学習情報の提供や電話等による学習相談の充実、視聴覚教材の利用促進に努めます。

(2) ふくおかの未来を担う子どもの育成

- ① 子どもたちを鍛えてほめてその可能性を伸ばす観点から、実体験を促進する多様な活動プログラムの研究開発と普及に努めます。
- ② 家庭教育に関する学習機会や情報の提供、相談活動の充実、家庭教育支援者の養成、交流の場の提供等に努めます。

(3) 社会教育関係者等の養成

- ① 社会教育関係職員及び民間団体指導者の資質向上を図る基礎的、専門的研修の充実に努めます。
- ② 地方創生や超高齢社会への対応、学校・地域との連携・協働等、現代的課題に関する研修の充実に努めます。
- ③ 県内外の生涯学習・社会教育関係実践事例の収集・提供及び関係者の交流促進に努めます。



所章

福岡県立社会教育総合センターが、本県の社会教育を総合的に推進する施設として充実発展していくことを願って、木が上へ上へと伸び、大きな繁りとなっていく姿をイメージしています。



沿

革

昭和53年12月 4日	福岡県社会教育委員の会議が福岡県教育委員会に対して、社会教育総合センターの早期設置を建議
昭和55年 8月 8日	建設場所を篠栗町に決定
昭和57年 1月11日	造成工事に着工
11月19日	建築工事に着工
昭和58年12月26日	福岡県立社会教育総合センター使用料条例（昭和58年福岡県条例第24号）公布
昭和59年 1月10日	福岡県立社会教育総合センター設立準備室を社会教育課内に設置
〃	研修団体の利用申込みの受付開始
3月 1日	福岡県立社会教育総合センター及び福岡県立社会教育総合センター少年自然の家組織規則（昭和59年福岡県教育委員会規則第1号）公布
〃	福岡県立社会教育総合センター等の利用等に関する規則（昭和59年福岡県教育委員会規則第3号）公布
3月15日	福岡県立社会教育総合センター使用料条例施行規則（昭和59年福岡県教育委員会規則第9号）公布
4月 1日	福岡県公の施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例（昭和58年福岡県条例第23号）により、福岡県立社会教育総合センター及び福岡県立社会教育総合センター少年自然の家を設置
4月10日	福岡県視聴覚教育協会事務局のセンター内への移転に伴い、福岡県視聴覚ライブラリーを同センターに開設
8月20日	所章（シンボルマーク）決定
9月10日	福岡県立社会教育総合センター及び福岡県立社会教育総合センター少年自然の家落成式
昭和60年 3月 9日	野外活動施設（野鳥観察小屋、野外劇場、レクリエーション広場、体育庫、避難小屋）完成
5月16日	視聴覚教材の利用等に関する規則（昭和60年福岡県教育委員会規則第7号）公布
昭和61年12月20日	上山窯完成
平成 元年 7月	施設ボランティア「若杉の会」発足
平成 4年 7月24日	利用者100万人突破
12月24日	キャンプ炊飯場新設
平成 6年10月16日	あじさい小屋完成
平成 8年 9月 1日	施設ボランティア「若杉の会」の名称を学習ボランティア「若杉の会」に変更
平成10年 5月	ホームページ「ふくおか生涯学習ネットワーク（現 ふくおか社会教育ネットワーク）」運用開始
7月14日	レストランをバイキング方式に変更するとともにパン工房を設置
平成11年 2月12日	炭焼窯完成
3月	学習ボランティア「若杉の会」10年のあゆみ発行
5月 8日	学習ボランティア「若杉の会」10周年記念交流会開催
平成12年 3月31日	山道等災害復旧工事完了（平成11年6月29日集中豪雨による災害）
平成13年 2月	パソコンルーム設置
11月18日	利用者200万人突破
平成15年 3月	緊急地域雇用創出特別基金事業により山林整備
11月14日	創立20周年記念行事（式典、体験活動フォーラム、体験活動カーニバル）実施
平成16年 3月31日	あじさい炊飯場完成
7月14日	釜山地域平生教育情報センターと交流協定締結
平成17年10月 1日	ホームページ「ふくおか子育てパーク」運用開始
平成22年 3月	緊急雇用創出事業臨時特例基金事業により野外活動エリア整備
3月19日	遊歩道等災害復旧工事完了（平成21年7月24日豪雨による災害）
平成23年 4月19日	利用者300万人突破
3月 9日	釜山地域平生教育情報センターの組織変更に伴い釜山広域市立市民図書館と交流協定締結
平成26年11月21日	創立30周年記念行事（式典、記念講演）実施
平成27年 3月31日	太陽光パネル設置及び照明LED化工事完了
3月	ホームページ「ふくおか社会教育ネットワーク」訪問者数30万件突破
平成28年 3月	きずなの森完成
令和 2年 3月 2日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休所（令和2年5月18日まで）
4月 1日	指定管理制度開始
9月	ふくおか体験活動出前隊の開始
令和 3年 5月13日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休所（令和3年6月20日まで）
8月10日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休所（令和3年9月30日まで）
令和 4年 2月	トイレ大規模改修工事完了
3月	ゆず植樹
〃	キャンプサイト設置
令和 5年 3月	ホームページ「ふくおか社会教育ネットワーク」改修
5月29日	利用者400万人突破
令和 6年11月17日	創立40周年記念行事（式典、記念講演）実施



施設概要

1 建築概要

敷地面積	201,750㎡
建築面積	5,838㎡
建物延面積	12,492㎡
建築構造	鉄筋コンクリート造
建築工事期間	起工 昭和57年11月19日 竣工 昭和59年3月31日
総工事費	4,321,457,000円

1階	2,725㎡
2階	4,958㎡
3階	2,434㎡
4階	2,315㎡
P 1階（塔屋）	60㎡

2 施設設備

① 宿泊施設・設備

階	施設名	面積(㎡)	定員	機能	設備
2～4階	宿泊室	延べ 1,262	500人 (316ベッド)	宿泊	4人用 11室 8人用 34室
	談話室	延べ 241		交流、研修	
3階	浴場	155		大浴場、中浴場、多目的浴室	
駐車場			80台		第1・第2駐車場



センター外観



レストラン「そよかぜ」



宿泊室



講堂



体育館



プレイホール



ロビー

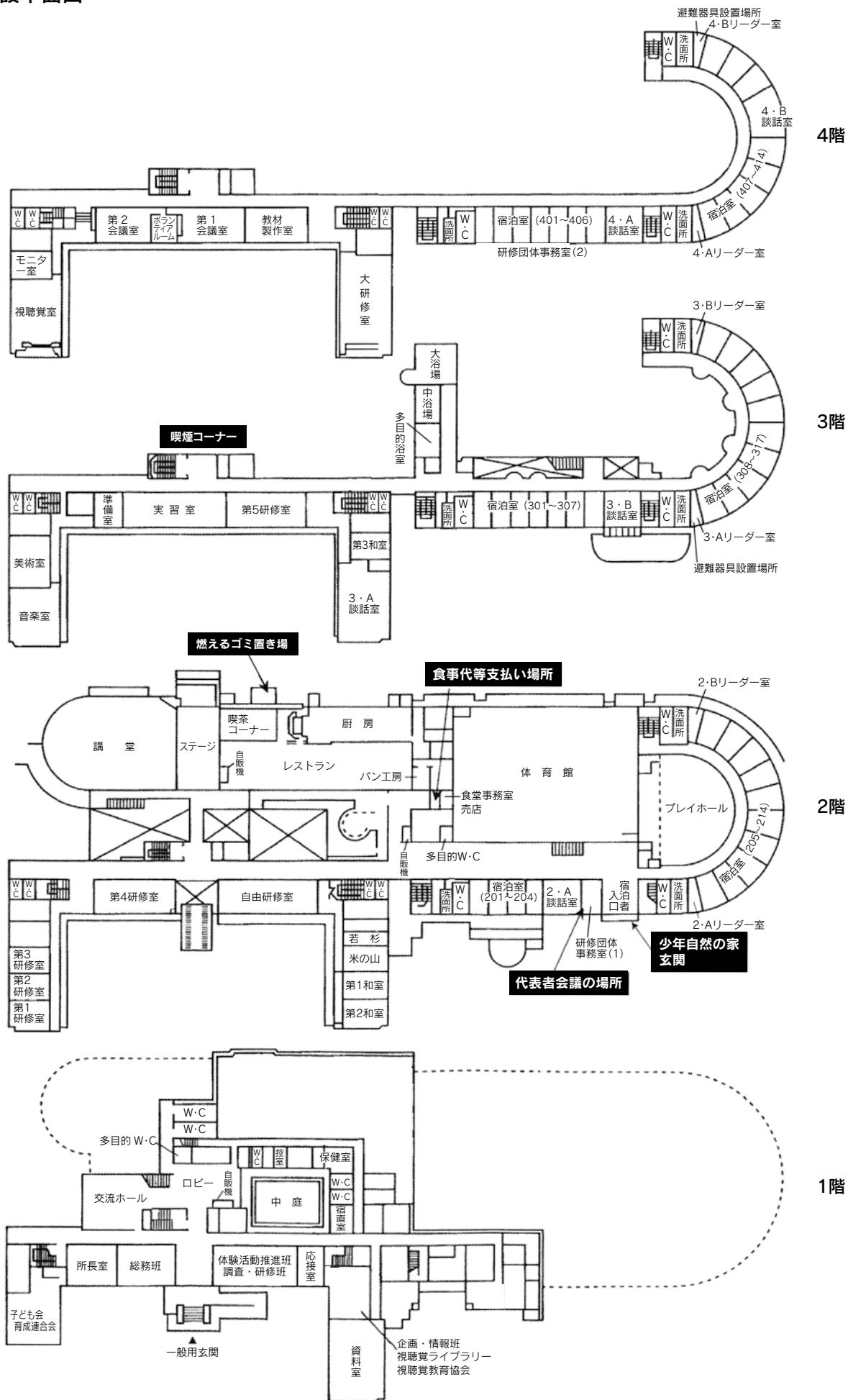


キャンプサイト



談話室

② 施設平面図



③ 研修施設・設備

階	室 名	定員(人)	機 能	設 備
1階	資 料 室	—	社会教育関係の図書・資料の閲覧	書棚、閲覧机
	交 流 ホ ー ル	—	交流・憩いの場・学習作品の展示	テレビ、応接セット、ピアノ、ビデオ
	控 室・応 接 室	—	所の管理用施設	
	所 長 室・事 務 室	—	所の管理用施設	
	視 聴 覚 ライブラリー	—	視聴覚教材の貸出し、相談	16ミリ映画、ビデオ教材、DVD
2階	講 堂	450	大会・研修会・講演会・映写会 ※防音	16ミリ映写機、スライド映写機、 ピアノ、ステージ、ポッチャコート
	レ ス ト ラ ン	242		パン工房
	第 1 研 修 室	18	講義、研修	黒板、机、椅子、スクリーン
	第 2 研 修 室	18		
	第 3 研 修 室	30		
	第 4 研 修 室	60		
	自 由 研 修 室	60		
	和 室（第 1・第 2）	45	研修室（16畳・20畳）	座テーブル、座布団
	体 育 館	—	バレー2面、バドミントン3面、 バスケットボール2面、フリーテニス（3面）	各種ネット
	プ レ イ ホ ー ル	—	軽スポーツ、交流の場、レクリエーション	オルガン
3階	音 楽 室	40	ミニコンサート、音楽練習場※防音	黒板、ピアノ、机付椅子
	美 術 室	40	美術研修（通常研修可）	黒板、机、椅子、流し台
	実 習 室	48	陶芸、木工の製作	固定作業台、丸椅子、流し台
	第 5 研 修 室	54	講義、研修	ホワイトボード、机、椅子
	和 室（第 3）	12	研修、茶道、華道	座テーブル
4階	視 聴 覚 室	80	視聴覚研修（スロープ式研修室）、 講義、研修、※防音、固定式机椅子	スクリーン、固定机、固定椅子
	第 1 会 議 室	—	所の管理用施設	
	ボランティアルーム	—	所の管理用施設	
	第 2 会 議 室	—	所の管理用施設	
	教 材 製 作 室 ※	40	講義、研修	黒板、机、椅子、スクリーン
	大 研 修 室	120	講義、研修	ホワイトボード、スクリーン、机、 椅子、放送設備、DVD
野外施設	グ ラ ウ ンド	—	ソフトボール、サッカー等	各種スポーツ道具
	野 外 炊 飯 場	80	野外炊飯	炊飯用具一式、かまど、調理台
	あ じ さ い 炊 飯 場	130	野外炊飯	炊飯用具一式、かまど、調理台
	野 外 劇 場	60	キャンプファイヤー、レクリエーション、 野外音楽	放送設備
	玄 関 前 交 流 広 場	—	交流の場	
	り ん ど う 小 屋	—	所の管理用施設（荒天時避難可）	
	た け の こ 広 場	300	朝・夕べのつどい、キャンプファイヤー	放送施設、全面舗装、キャンプサイト
	あ じ さ い 小 屋	—	所の管理用施設	
	あ じ さ い 広 場	100	工作、キャンプファイヤー	テーブル、椅子、テント、電源有

3 利 用 案 内

当センターは、広く県民の社会教育を推進する教育施設として、学習活動に関する情報の収集及び発信を行う等、生涯学習の機会と場の充実に努めています。

利 用 内 容		申 し 込 み 方 法 等	備 考
研 修		学校やグループ、団体等の研修の受入れをしています。適正な研修計画であれば利用できます。また、2人以上であれば、宿泊研修もできます。 ①宿泊利用の場合 利用開始日の3か月前の月初めから1か月前までに申し込んでください。 ②1日利用の場合 利用日の1か月前から1週間前までの受付となります。事前に電話でご相談ください。 TEL：092-947-3511（体験活動推進班）	全国(九州)規模の大会や研究集会、県教育委員会主催の研修会等、特に必要があると認めた団体については、前年度から申し込みを受け付ける場合があります。
	見 学 ・ 視 察	見学希望日の1週間前までに電話でお問い合わせください。 TEL：092-947-3511（体験活動推進班）	
相 談	学習相談	学習機会や講師情報、事例の紹介等、様々な相談に応じます。（休所日を除く） TEL：092-947-3512（調査・研修班）	来所及び電話による相談を受け付けています。
	家庭教育相談 「親・おや電話」 「メール相談」	保護者等を対象に家庭教育・子育て全般の相談に応じます。 ①電話による相談 TEL：092-947-3515 月曜日～土曜日 9：00～17：00 （休所日、第4土曜日及び祝休日を除く） ②メールによる相談 HP「ふくおか子育てパーク」において受け付けています。 https://www.kosodate.pref.fukuoka.jp/	専門の相談員が対応します。
図 書 資 料		社会教育に関する資料が閲覧・貸出しできます。	貸出しは来所のみで受け付けています。
視 聴 覚 教 材 の 利 用		DVD・ビデオ・16ミリ等の教材を貸出しています。電話で予約受付ができます。 受付は9：00～12：00 / 13：00～16：30 （休所日、土曜日、日曜日及び祝休日を除く）です。 毎週火曜日・木曜日に発送します。 送料往復無料（一部地域を除く）です。 利用申込は利用の3か月前から受け付けます。貸出期間は7日間（8日以上要相談）です。 1回の貸出しは5本以内とします。 TEL：092-947-3514（視聴覚ライブラリー） https://www.fsg.pref.fukuoka.jp/raiburari.index.html	詳しくはHP「福岡県視聴覚ライブラリー」をご覧ください。

○休 所 日

毎月第2月曜日、第4日曜日、年末年始（12月28日～1月4日）。休所日は変更になる場合があります。

○必要な経費

施設を利用する場合は、福岡県立社会教育総合センターの利用料金に関する条例（昭和58年福岡県条例第24号）に定める利用料金のほかに、食費等が必要です。詳細については次ページを参照してください。

4 利 用 料 金（令和7年4月1日現在）

○施設利用料

	利用時間 研修室	9 : 00 ↓ 12 : 00	13 : 00 ↓ 17 : 00	19 : 00 ↓ 21 : 00	9 : 00 ↓ 17 : 00	13 : 00 ↓ 21 : 00	9 : 00 ↓ 21 : 00
2階	第 1 研修室	750円	1,000円	500円	2,000円	2,000円	3,000円
	第 2 研修室	750円	1,000円	500円	2,000円	2,000円	3,000円
	第 3 研修室	1,110円	1,480円	740円	2,960円	2,960円	4,440円
	第 4 研修室	2,040円	2,720円	1,360円	5,440円	5,440円	8,160円
	自由研修室	2,040円	2,720円	1,360円	5,440円	5,440円	8,160円
	第 1 和 室	750円	1,000円	500円	2,000円	2,000円	3,000円
	第 2 和 室	750円	1,000円	500円	2,000円	2,000円	3,000円
	講 堂	11,130円	14,840円	7,420円	29,680円	29,680円	44,520円
3階	音 楽 室	2,580円	3,440円	1,720円	6,880円	6,880円	10,320円
	美 術 室	1,470円	1,960円	980円	3,920円	3,920円	5,880円
4階	大 研 修 室	3,330円	4,440円	2,220円	8,880円	8,880円	13,320円
	視 聴 覚 室	3,690円	4,920円	2,460円	9,840円	9,840円	14,760円
	宿 泊 室	1 人 1 泊につき 1,230 円					

※研修で必要な機材等の要望がありましたら、あらかじめ体験活動推進班にお問い合わせください。

※利用者の利用目的によっては利用料金の免除や減額の措置があります。

※政治活動、宗教活動、営利を目的とした活動での利用はできません。

※宿泊者1人1泊につき宿泊税が別途200円課税されます。ただし、利用料金が全額免除される場合には課税されません。

※宿泊の際は、別途シーツクリーニング代として1セット（2枚）につき280円必要となります。

※寝具類をお茶や鼻血等で、濡らしたり汚したりすると、別途クリーニング代をいただく場合があります。

○食事料金（価格は全て税込み）

食堂（レストラン「そよかぜ」）利用

対 象		朝 食	昼 食	夕 食
幼 児	一 般	270円	380円	430円
	団体割引 (R8.1.1～廃止)	240円	360円	410円
小学生	一 般	530円	750円	830円
	団体割引 (R8.1.1～廃止)	500円	700円	770円
中学生 以 上	一 般	560円	800円	850円
	団体割引 (R8.1.1～廃止)	530円	740円	800円

※次の①又は②を満たす団体は団体割引が適用されます。

①施設利用料金の全額免除を受けることができる学校・青少年団体

②全ての食堂利用が30名（食）以上である団体

※令和8年1月1日から団体割引は廃止となります。

※幼児は、4歳～6歳までとします（4歳未満は無料）。

弁当（昼食）

対 象		価 格
幼 児	一 般	400円
	団体割引 (R8.1.1～廃止)	370円
小学生 以 上	一 般	640円
	団体割引 (R8.1.1～廃止)	620円

野外炊飯セット

メニュー	対 象	価 格
カレー、焼きそば、豚汁、 シチュー	幼 児	320円
	小学生以上	640円
焼肉	幼 児	430円
	小学生以上	860円

注文・キャンセル

食数の注文は、入所日の10日前（休所日の場合はその前日）の12時までに行ってください。

10日前を過ぎてキャンセルとなる場合は、食事料金の半額（野外炊飯の場合は全額）を負担していただきます。

当日キャンセルとなる場合は、全額を負担していただきます。

5 福岡県視聴覚ライブラリー

視聴覚教材

社会教育総合センター内に福岡県視聴覚ライブラリーを設置し、次のような教材の貸出しを行っています。

16ミリフィルム	1,393本
ビデオ	1,318本
DVD	1,083本
CD-ROM	35本
その他 (CD)	88本
合計	3,917本

領域の内訳

学 校 教 育	16ミリフィルム	ビデオ	DVD	CD-ROM	その他	社 会 教 育	16ミリフィルム	ビデオ	DVD	CD-ROM	その他
国 語	140	81	120	0	1	教養・情操	346	390	255	5	13
社 会	127	240	162	2	0	健康・体力	76	65	46	0	0
算数・数学	6	4	0	0	0	家庭生活	95	69	68	1	1
理 科	129	137	44	7	9	家庭教育	158	227	319	4	12
生 活 科	58	194	182	4	0	地域社会生活	360	242	590	11	44
音 楽	8	9	0	0	2	人権・同和	228	105	258	0	32
図工・美術	17	9	5	1	0	国民生活	175	226	334	6	28
技術・家庭	13	31	41	3	0	国際性	39	70	12	0	0
保健・体育	59	93	97	1	0	職業生活一般	9	10	14	0	0
道 徳	486	207	502	3	35	職業の知識・技術	20	89	149	1	0
特 別 活 動	716	1,035	1,042	29	35	学習者の特性	51	26	5	4	0
						学習援助の方法	63	115	43	13	12
						社会教育施設	17	5	1	0	0
						一 般 映 画	93	65	22	0	0
						自 作	県コンクール賞作品	0	53	0	0
						ビデオ	社教センター作品	0	6	3	0
						アニメーション作品	277	176	192	3	0

(令和7年4月1日現在)

※福岡県視聴覚教育協会所有の教材含む。

※所有本数と領域別の合計本数が異なるのは、1本のフィルム又はDVD等が複数の領域で活用できることによる。

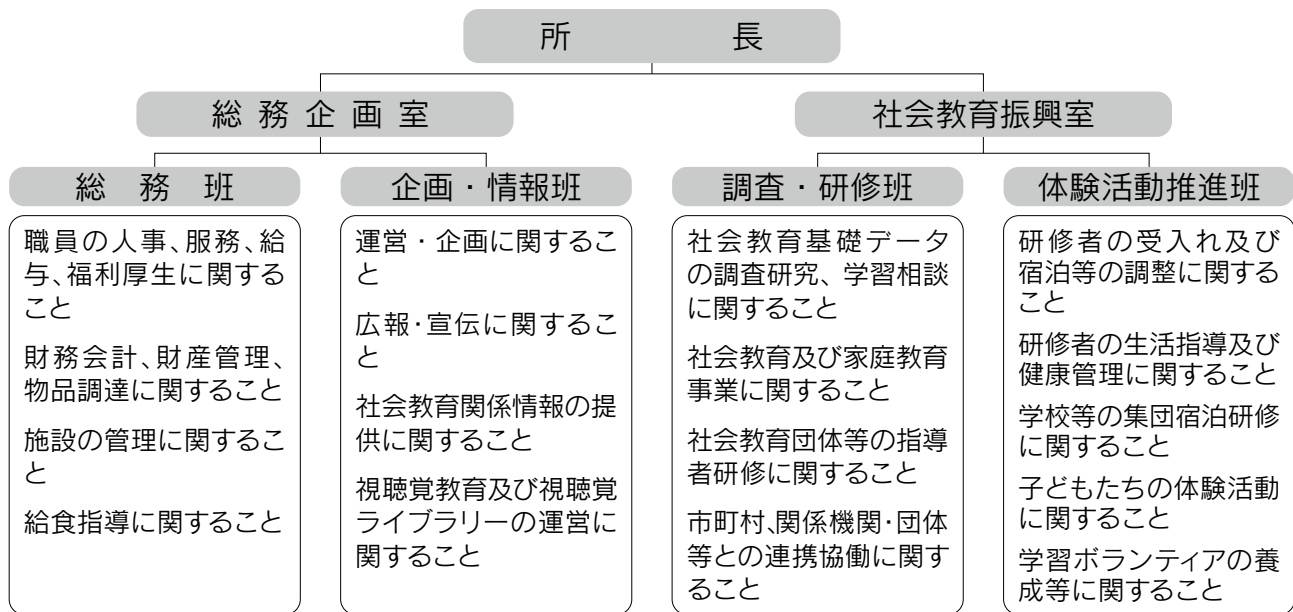
DVD、ビデオ、16ミリフィルム等の貸出しは

すべて無料(往復送料含む)です。

幅広い世代に御利用いただける教材が揃っています。



組織・機構・職員（令和7年4月1日現在）



所 長 富 松 文 夫 参 事 石 津 峰

室名	室長	班名	班				員					
総務企画室	平田 裕一朗	総務班	班主	長主	中飯勝	村田田	聡未敬	志久信	社会教育施設指導員	山林管理員	原人見	あゆみ隆文
		企画・情報班	班主	長主	野上	田野光		雅裕	社会教育施設指導員	社会教育施設指導員	永田 弘子	堀 志穂
社会教育振興室	石津 峰	調査・研修班	班主	長主	古高	賀木	千昇	絵太				
			社会教育主事		柴尾	裕夢						
			社会教育主事		城井	希人						
			社会教育主事補		杉	由大						
		体験活動推進班	班主	長主	村本	篤史	史平	社会教育施設指導員	古賀 遥			
			社会教育主事		永井	淳平			社会教育施設指導員	江口 夏鈴		
		社会教育主事		植田	泰司	司夢	社会教育施設指導員	河野 里奈				
		社会教育主事		姫野	大夢		社会教育施設指導員	森北 陽一朗				
			社会教育主事補		齊藤	花奈						

福岡県視聴覚教育協会	臨時職員	藤 麻 湖	臨時職員	田 口 夕 起	指定管理者	福岡総合ビル管理事業協同組合
------------	------	-------	------	---------	-------	----------------

歴代所長

	所 長 名	就任年月日		所 長 名	就任年月日		所 長 名	就任年月日
1	安 部 徹	S59. 4. 1	9	森 本 精 造	H 8. 4. 1	17	今 田 義 雄	H24. 4. 1
2	加 来 宣 幸	S61. 4. 1	10	瓜 生 浩 平	H12. 4. 1	18	中 蘭 宏	H26. 4. 1
3	山 口 春 禮	S63. 4. 1	11	安 野 義 勝	H13. 4. 1	19	原 正 彦	H29. 4. 1
4	濱 地 甫 伯	H 元. 4. 1	12	重 松 孝 士	H14. 4. 1	20	日 高 公 徳	H31. 4. 1
5	鹿 毛 勲 臣	H 元. 6.14	13	菊 川 律 子	H17. 4. 1	21	平 川 真 一	R 2. 4. 1
6	窪 田 康 徳	H 4. 4. 1	14	角 伸 幸	H19. 4. 1	22	井 手 優 二	R 5. 4. 1
7	松 崎 輝 生	H 5. 4. 1	15	木 原 忠	H23. 4. 1	23	吉 永 康 之	R 6. 4. 1
8	大 神 俊 明	H 6. 4. 1	16	城 戸 秀 明	H23.10.31	24	富 松 文 夫	R 7. 4. 1



令和7年度事業計画

1 県民の学習活動支援

学習情報提供・学習相談

■HP「ふくおか社会教育ネットワーク」による情報の提供

県内外の社会教育に関する先進事例や講師情報、調査研究等様々な学習情報を提供するとともに、当センター及び県内社会教育施設情報について紹介する。

<対象>県民、民間団体、学校、行政機関等

学習情報提供・学習相談

■図書資料と社会教育情報の収集・整理・提供

国や県・市町村、専門機関の発行する社会教育・生涯学習振興に関連する図書資料や地域情報等を収集・整理・提供する。

<対象>県民、民間団体、学校、行政機関等

学習情報提供・学習相談

■視聴覚教材の収集・貸出

社会教育・生涯学習、学校教育、家庭教育等に関する視聴覚教材の収集と貸出を行う。

<対象>学校、民間団体、行政機関等

学習情報提供・学習相談

■社会教育・生涯学習に関する学習相談

社会教育や生涯学習に関する講師や学習方法、学習機会についての情報提供、事例の紹介、図書や視聴覚教材の案内、研修プログラムの相談など、学習者や学習企画者の相談に応える。

<対象>学校、民間団体、行政機関等

学習活動の支援・学習機会の提供

■社教センターフェスタ

地域に開かれた施設づくりの一環として、当センターの施設や自然を活用した様々な創作活動・体験活動等を地域住民へ提供し、センターの事業等への理解とボランティアの育成を図る。

<対象>県民、施設での活動に関心のある方

<実施>11月9日(日)

学習活動の支援・学習機会の提供

■ふくおか社会教育応援隊

県内の社会教育振興を図るため、市町村や社会教育関係団体、学校等の要望に応じた人材を派遣するとともに、情報、学習機会を提供する。

<対象>市町村、社会教育関係団体、学校等



2 ふくおかの未来を担う子どもの育成

鍛えよう！ほめよう！体験活動推進プロジェクト

■ふくおかぎっずアドベンチャーキャンプ【4回シリーズ】

県内の小学校4～6年生の児童を対象に、県内各青少年教育施設での特色を生かした自然・生活体験と「鍛ほめ福岡メソッド」を位置付けたプログラムを経験させることを通して、自尊感情や向上心、困難に立ち向かう心等を伸ばし、自律的に成長するための基礎を養う。ワンヘルス推進への取組。

※夜須高原青少年自然の家、英彦山青年の家、少年自然の家「玄海の家」と共同開催

<対象>県内の小学校4～6年生 24名

<実施>① 8月30日(土)～31日(日) (社教センター)

② 9月13日(土)～14日(日) (玄海の家)

③ 10月11日(土)～12日(日) (夜須高原青少年の家)

④ 10月25日(土)～26日(日) (英彦山青年の家)

鍛えよう！ほめよう！体験活動推進プロジェクト

■和き・合い・愛 チャレンジキャンプ

知的障がいのある児童・生徒を対象に、自然体験活動や社会体験活動のプログラムを通して、何事にも主体的に取り組む力や他者とふれあう力を育み、自立心や社会性を養う。また、高等部については、卒業後の進路を考えるために、保護者同士の情報交換等を行いながら、子どもの自立に向けた支援の在り方等について考える機会とする。

<対象>県内の特別支援学校及び小中学校の特別支援学級に在籍する知的障がいのある児童・生徒(小学5年生～中学3年生)とその保護者及び教員

<実施>② 12月20日(土)

鍛えよう！ほめよう！体験活動推進プロジェクト

■はじめてチャレンジ！ドキドキキャンプ

豊かな自然の中で五感を刺激し、様々な人や自然と関わりながら体験活動を行うことで、自立心や協同性、規範意識を育み、小学校入学の準備をする。不登校未然防止キャンプ。／ワンヘルス推進への取組。

<対象>県内の年長児

<実施>① 9月20日(土)～21日(日) (24名)

② 10月18日(土)～19日(日) (24名)

鍛えよう！ほめよう！体験活動推進プロジェクト

■ワン・ツー・スリー！トライキャンプ

自然の中で野外活動と宿泊活動を体験し、生活習慣の定着を図るとともに、協調性、規範意識、思考力・判断力を養う。また、体験活動を通して自己肯定感を高め、社会参加への主体的な態度を育成する。不登校未然防止キャンプ。／ワンヘルス推進への取組。

<対象>県内の小学校1～3年生 各20名程度

<実施>① 6月14日(土)～15日(日)

② 7月5日(土)～6日(日)

鍛えよう！ほめよう！体験活動推進プロジェクト

■きずなキャンプ

県内の児童養護施設の子ども同士が様々な体験活動を通して交流しながら、思考力や社会性、協調性を育成し、自立心、自尊感情の向上を目指す。

<対象>県内の児童養護施設の小学5年から中学3年までの児童・生徒20名程度

<実施>① 12月6日(土)～7日(日)

鍛えよう！ほめよう！体験活動推進プロジェクト

■ふくおか体験活動出前隊

県内の県立青少年教育施設及び国立夜須高原青少年自然の家の職員が学校や地域に出向き、自然体験活動の機会が減った児童・生徒及び教職員、地域の方々を対象に体験活動の支援を直接行うことを通して、学校や地域での体験活動の充実及び活性化を図る。併せて、県内青少年教育施設の取り組みを広く地域に発信し、理解を深めるとともに、各施設の利用促進を図る。

<対象>県内の教育施設、市町村社会教育・生涯学習関係課及び管内の社会教育施設、社会教育関係団体、地域活動、社会貢献活動、ボランティア活動等に関係する団体

家庭教育支援

■みんなで育もう！ふくおかの子ども育成支援フォーラム

「ふくおかの未来を担う子どもの育成」に向け、家庭教育・子育て支援など「子どもの育ち」に関わる個人や団体、行政担当者等が集い、学習や交流を通して、家庭教育・子育て支援の在り方を考えるとともに、参加者同士のネットワークの構築を図る。

<対象> 家庭教育・子育て支援に関心のある団体・個人、
家庭教育・子育て支援行政担当者、幼稚園・保育所(園)・
認定こども園、学校関係者等

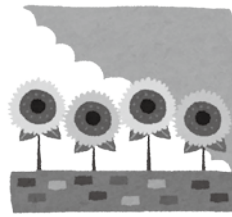
<実施> 11月29日(土)

家庭教育支援

■HP「ふくおか子育てパーク」による情報の提供

インターネットを活用した家庭教育・子育て支援情報の収集・提供を行い、家庭教育・子育ての支援を図る。

<対象> 家庭教育・子育て支援者・団体、保護者、行政機関等



家庭教育支援

■家庭教育相談「親・おや電話」・「メール相談」

保護者等を対象に家庭教育・子育て全般にわたる相談に応じる。

<対象> 保護者等

3 社会教育関係者等の養成

社会教育基礎研修

■社会教育・生涯学習関係職員等研修会【基礎講座】

社会教育・生涯学習関係職員の新任者等が、今後の社会教育・生涯学習の振興を図るために必要な基礎知識や資質・能力を身に付けるとともに、関係者のネットワークを構築する。

<対象> 社会教育・生涯学習関係職員等

<実施> 6月17日(金)

社会教育基礎研修

■市町村社会教育委員新任者研修会

新任の市町村社会教育委員等を対象に、社会教育の基礎的な知識や社会教育委員の役割、当面する社会教育課題の解決等についての研修を行い、社会教育委員としての資質の向上を図る。

<対象> 新任の社会教育委員、生涯学習行政関係職員等

<実施> 7月1日(火)

社会教育実践研修

■社会教育・生涯学習関係職員等研修会【広報講座】

地域における人づくり・つながりづくりを促進する広報についての実践的な知識・技能を学ぶことをとおして、社会教育・生涯学習に携わる職員の資質・能力の向上を図る。

<対象> 社会教育・生涯学習関係職員等

<実施> 7月18日(金)

社会教育実践研修

■16ミリ映写機操作技術講習

16ミリ映写機及び映像フィルムの仕組や取扱について学び、実際に映写機の操作を行うことで、操作技術の習得を図る。

<対象> 社会教育関係者、学校関係者、幼稚園・保育園、公民館関係者、
16ミリフィルムの上映に関心がある方

<実施> ① 7月5日(土)、② 8月7日(木)、③ 11月22日(土)

現代的課題対応研修

■公民館事業活性化研修会

公民館の機能の一つである「学び」を通じた地域づくりの実践や理論を学ぶことを通して、今後の事業づくりの充実につなげる。

<対象> 社会教育・生涯学習関係職員、公民館関係職員
社会教育施設・コミュニティ施設職員、地域活動指導員
社会教育委員、NPO・民間団体関係者等、その他関心
のある方

<実施> 9月17日(水)

現代的課題対応研修

■地域と学校の連携・協働推進セミナー

地域全体で子供達の成長を支え、地域づくり・人づくりを目的とした地域学校協働活動とコミュニティ・スクールを一体的に推進するために、関係者の理解促進と連携の構築を図り、今後の取組の充実につなげる機会とする。

<対象> 社会教育関係者、学校関係者、市町村職員、地域学校協働活動
推進員、PTA関係者、スクールカウンセラー
スクールソーシャルワーカー、NPO等

<実施> 10月16日(木)

交流研修

■中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会 第42回大会

「まちづくり」「ひとづくり」に取り組んでいる関係者が一堂に会し、実践発表をとおして相互交流を図る。

<対象> 社会教育・生涯学習関係者等(民間・行政)

<実施> 5月17日(土)～18日(日)

交流研修

■生涯教育まちづくりフォーラム

県内の「まちづくり」「ひとづくり」に関する実践の事例発表及び研究論文発表をともに、参加者相互の交流を通して社会教育・生涯学習の振興を図る。

<対象> 社会教育・生涯学習に関心のある方

<実施> 年4回程度

交流研修

■若年教員対象体験活動指導者研修

小学校・中学校の若年教員が、集団づくりに役立つレクリエーションや自然体験活動等の指導に関する基本的な知識や技能を習得し、教員としての見識を広げ、及び若年教員同士の連帯感の高揚を図る。

<対象> 福岡教育事務所管内の小学校、中学校の経験7年以内の教員
40名

<実施> 7月29日(火)～30日(水)

交流研修

■体験活動指導者のためのファシリテーションセミナー

ファシリテーションの手法をもとにしたアクティビティの体験、講義、実践を通して体験活動指導者に求められる知識・技能を習得する機会を提供するとともに、参加者の指導能力の向上を図ります。

<対象> 学校教育・青少年教育関係者、スポーツ指導者など3回
連続で参加できる方 14名

<実施> 1月17日(土)、1月24日(土)、1月31日(土)



令和6年度実績

1 事業

① 県民の学習活動支援

学習情報提供・学習相談

■HP「ふくおか社会教育ネットワーク」による情報の提供

県内外の社会教育に関する先進事例や講師情報、調査研究等様々な学習情報を提供するとともに、当センター及び県内社会教育施設情報について紹介する。

＜対象＞県民、民間団体、学校、行政機関等
＜実施＞277,353件

学習情報提供・学習相談

■図書資料と社会教育情報の収集・整備・提供

国や県・市町村、専門機関等が発行する社会教育・生涯学習振興に関連する図書資料・地域情報等を収集、整理、提供する。

＜対象＞県民、民間団体、学校、行政機関等
＜実施＞図書資料128件
地域情報発信170件

学習情報提供・学習相談

■視聴覚教材の収集・貸出

社会教育・生涯学習、学校教育、家庭教育等に関する視聴覚教材の収集と貸出を行う。

＜対象＞学校、民間団体、行政機関等
＜実施＞767本

学習情報提供・学習相談

■社会教育・生涯学習に係る学習相談の実施

社会教育や生涯学習に関する講師や学習方法、学習機会についての情報提供、事例の紹介、図書や視聴覚教材の案内、研修プログラムの相談など、学習者・学習企画者の相談に応える。

＜対象＞学校、民間団体、行政機関等
＜実施＞1,098件

調査研究

■家庭教育に関する調査研究

中学生の保護者を対象に、家庭教育に関する意識及び行動調査を行い、家庭教育支援に資する情報を提供する。

＜対象＞中学生の保護者
＜実施＞調査報告書、ダイジェスト版の作成・配布・HP掲載

学習活動の支援・学習機会の提供

■社教センターフェスタ

地域に開かれた施設づくりの一環として、当センターの施設や自然を活用した様々な創作活動・体験活動等を地域住民へ提供し、センターの事業等への理解とボランティアの育成を図る。

＜対象＞県民、施設での活動に関心のある方
＜実施＞11月10日(日) 867名



学習活動の支援・学習機会の提供

■ふくおか社会教育応援隊

県内の社会教育振興を図るため、市町村や社会教育関係団体、学校等の要望に応じた人材を派遣するとともに、情報、学習機会を提供する。

＜対象＞市町村、社会教育関係団体、学校等
＜実施＞7件派遣

② ふくおかの未来を担う子どもの育成

鍛えよう！ほめよう！体験活動推進プロジェクト

■ふくおかきッズアドベンチャーキャンプ【4回シリーズ】

県内の小学校4～6年生の児童を対象に、県内各青少年教育施設での特色を生かした自然・生活体験を経験させることを通して、自尊感情や向上心、困難に立ち向かう心等を伸ばし、自律的に成長するための基礎を養う。

※夜須高原青少年自然の家、英彦山青年の家、少年自然の家「玄海の家」と共同開催

＜対象＞県内の小学校4～6年生 24名
＜実施＞①8月31日(土)～9月1日(日)(社教センター)
②9月14日(土)～15日(日)(玄海の家)
③10月12日(土)～13日(日)(夜須高原青少年自然の家)
④10月26日(土)～27日(日)(英彦山青年の家)

鍛えよう！ほめよう！体験活動推進プロジェクト

■和き・合い・愛 チャレンジキャンプ

知的障がいのある児童・生徒を対象に、自然体験活動や社会体験活動のプログラムを通して、何事にも主体的に取り組む力や他者とふれあう力を育み、自立心や社会性を身につける力を養う。また、高等部については、卒業後の進路を考えるために、保護者同士の情報交換等を行いながら、子どもの自立に向けた支援の在り方等について考える機会とする。



＜対象＞①②は県内の特別支援学校及び小中学校の特別支援学級に在籍する知的障がいのある児童・生徒、③は保護者と教員
＜実施＞①6月15日(土)～16日(日) 15名
②1月11日(土)～13日(月) 10名
③11月22日(金)【特別公演】 21名

鍛えよう！ほめよう！体験活動推進プロジェクト
 ～「体験の風をおこそう」運動推進事業～
■きずなキャンプ

児童養護施設の子も同士が様々な体験活動を通して交流しながら、思考力や社会性、協調性を育成し、自立心、自尊感情の向上を目指す。

＜対象＞児童養護施設の小学5年生～中学3年生までの児童・生徒
 ＜実施＞① 7月13日(土)～14日(日) 16名

鍛えよう！ほめよう！体験活動推進プロジェクト
■はじめてチャレンジ！ドキドキキャンプ

豊かな自然の中で五感を刺激し、様々な人や自然と関わりながら体験活動を行うことで、自立心や協調性、規範意識を育み、小学校入学の準備を行う。

＜対象＞県内の年長児
 ＜実施＞10月5日(土)～6日(日) 27名



鍛えよう！ほめよう！体験活動推進プロジェクト
 ～「体験の風をおこそう」運動推進事業～
■コミュニケーションキャンプ【2回シリーズ】
 ～考え、工夫し、乗り越えるグループアクティビティ～

同じ仲間と全2回、3泊5日にわたり、自然の中で野外活動と宿泊体験を行い、生活習慣の定着を図るとともに、協調性、主体性、規範意識、思考力・判断力を養う。また、グループで未知の課題に取り組みながら合意形成のスキルを身に付け、コミュニケーション能力を育む。

＜対象＞県内の小学校5～6年生
 ＜実施＞① 7月27日(土)～28日(日) 23名
 ② 9月21日(土)～23日(月) 21名



学習活動の支援・学習機会の提供
■ふくおか体験活動出前隊

県内の県立青少年教育施設及び国立夜須高原青少年自然の家の職員が学校や地域に出向き、自然体験活動の機会が減った児童・生徒及び教職員、地域の方々を対象に体験活動の支援を直接行うことを通して、学校や地域での体験活動の充実及び活性化を図る。併せて、県内青少年教育施設の取り組みを広く地域に発信し、理解を深めるとともに、各施設の利用促進を図る。

＜対象＞県内の教育施設、市町村社会教育・生涯学習関係課及び管内の社会教育施設、社会教育関係団体、地域活動、社会貢献活動、ボランティア活動等に関する団体
 ＜実施＞4施設合計 約151団体(9,945名)

家庭教育支援

■みんなで育もう！
 ふくおか子ども育成支援フォーラム

「ふくおかの未来を担う子どもの育成」に向け、家庭教育・子育て支援など、「子どもの育ち」に関わる個人や団体、行政担当者等が集い、学習や交流を通して、家庭教育・子育て支援の在り方を考えるとともに、参加者同士のネットワークの構築を図る。

＜対象＞家庭教育・子育て支援に関心のある団体・個人、家庭教育・子育て支援行政担当者、幼稚園・保育所(園)、学校関係者等
 ＜実施＞12月1日(日) 110名



家庭教育支援

■HP「ふくおか子育てパーク」による情報の提供

インターネットを活用した家庭教育・子育て支援情報の収集・提供を行い、家庭教育・子育ての支援を図る。

＜対象＞家庭教育・子育て支援者・団体、保護者、行政機関等
 ＜実施＞42,274件

家庭教育支援

■家庭教育相談「親・おや電話」・「メール相談」

保護者等を対象に家庭教育・子育て全般にわたる相談に応じる。

＜対象＞保護者等
 ＜実施＞371件(電話339件、メール32件)



シャキウレンチャー

③ 社会教育関係者等の養成

社会教育基礎研修

■社会教育・生涯学習関係職員等研修会【基礎講座】

社会教育・生涯学習関係職員の新任者及び学び直しを希望する者を対象に、今後の社会教育・生涯学習の振興を図るために必要な基礎知識や資質・能力の向上に向けた研修を行う。また、関係者同士のネットワークを構築する機会を提供する。

＜対象＞社会教育・生涯学習関係職員等
＜実施＞6月12日(水) 59名



社会教育基礎研修

■市町村社会教育委員新任者研修会

主として新たに委嘱された市町村の社会教育委員等を対象に、社会教育の基礎的な知識や社会教育委員の役割、当面する社会教育課題の解決等についての研修を行い、社会教育委員としての資質の向上を図る。

＜対象＞社会教育委員新任者、行政関係者等
＜実施＞6月26日(水) 63名



社会教育実践研修

■社会教育・生涯学習関係職員等研修会【合意形成力講座】

地域における人づくり・つながりづくりを促進する対話を通じた合意形成についての実践的な知識・技能を学ぶことを通じて、社会教育・生涯学習に携わる職員の資質・能力の向上を図る。

＜対象＞社会教育・生涯学習関係職員等
＜実施＞10月18日(金) 39名



社会教育実践研修

■16ミリ映写機操作技術講習

映写機の使用手法やフィルムの取扱いについての講習を行い、視聴覚教材(16ミリフィルム)の利用促進を図る。

＜対象＞社会教育関係者、学校関係者、その他関心がある方
＜実施＞①8月8日(木) 4名
②11月23日(土) 5名



現代的課題対応研修

■公民館事業活性化研修会

現多くの公民館関係者が抱える「若い人が公民館に来ない」という課題を解決するための視点をつかむとともに、今後の事業づくりにつなげる。

＜対象＞社会教育・生涯学習行政関係職員、公民館関係職員、コミュニティ施設関係職員等
＜実施＞9月26日(木) 78名



現代的課題対応研修

■地域と学校の連携・協働推進セミナー

地域全体で子供の成長を支え、地域づくり・人づくりを目的とした地域学校協働活動とコミュニティ・スクールを一体的に推進するために、関係者の理解促進と連携の構築を図るとともに、今後の取組の充実につなげる機会とする。

＜対象＞社会教育関係者、学校関係者、市町村職員、地域学校協働活動推進員等
＜実施＞9月11日(水) 124名



交流研修

■中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会第41回大会

「まちづくり」「ひとづくり」に取り組んでいる関係者が一堂に会し、実践発表をとおして相互交流を図る。

＜対象＞社会教育・生涯学習関係者等(民間・行政)
＜実施＞5月18日(土)～19日(日) 370名



交流研修

■生涯教育まちづくりフォーラム

県内の「まちづくり」「ひとづくり」に関する実践の事例発表及び研究論文発表を基に、参加者相互の交流を通して社会教育・生涯学習の振興を図る。

＜対象＞社会教育・生涯学習に関心のある方
＜実施＞8月3日(土) 20名
12月14日(土) 39名
2月1日(土) 51名
3月15日(土) 25名



交流研修

■若年教員対象体験活動指導者研修

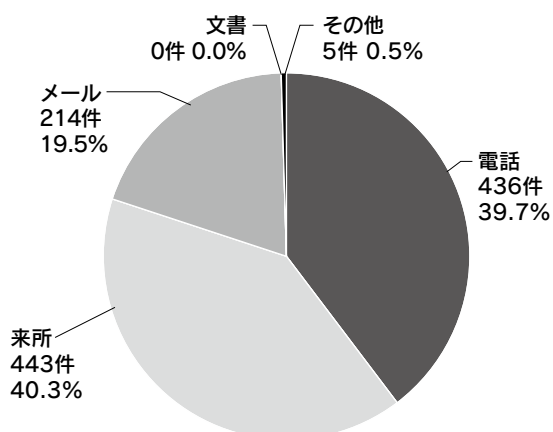
小学校・中学校の若年教員が、集団づくりに役立つレクリエーションや自然体験活動等の指導に関する基本的な知識や技能を習得し、教員としての見識を広げ、及び若年教員同士の連帯感の高揚を図る。

＜対象＞福岡教育事務所管内の小学校、中学校の教員経験7年以内の教員
＜実施＞8月1日(木)・2日(金) 22名

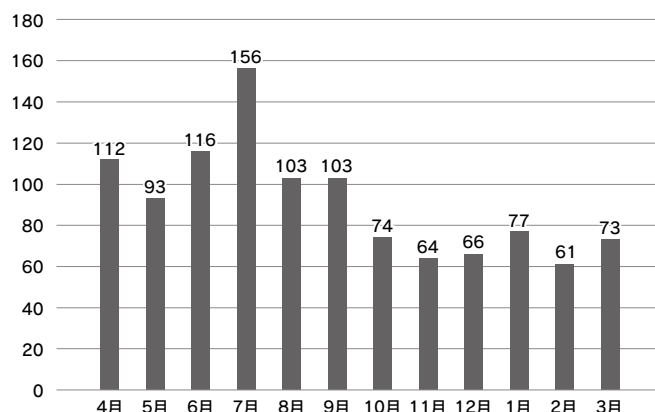


2 学 習 相 談 状 況

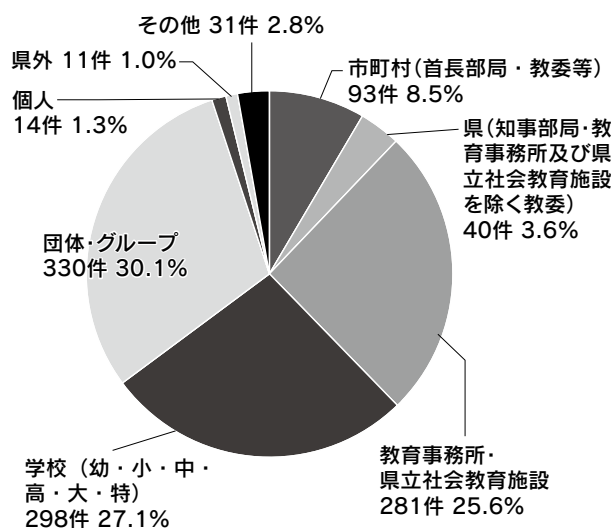
■相談方法別内訳



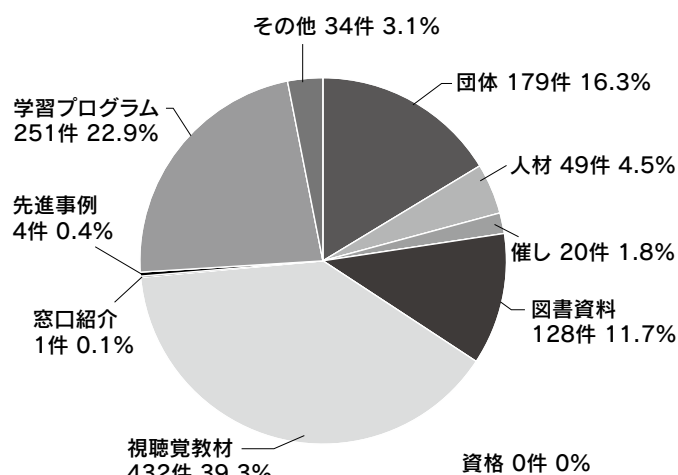
■月別相談件数



■相談者別内訳



■相談分野別内訳



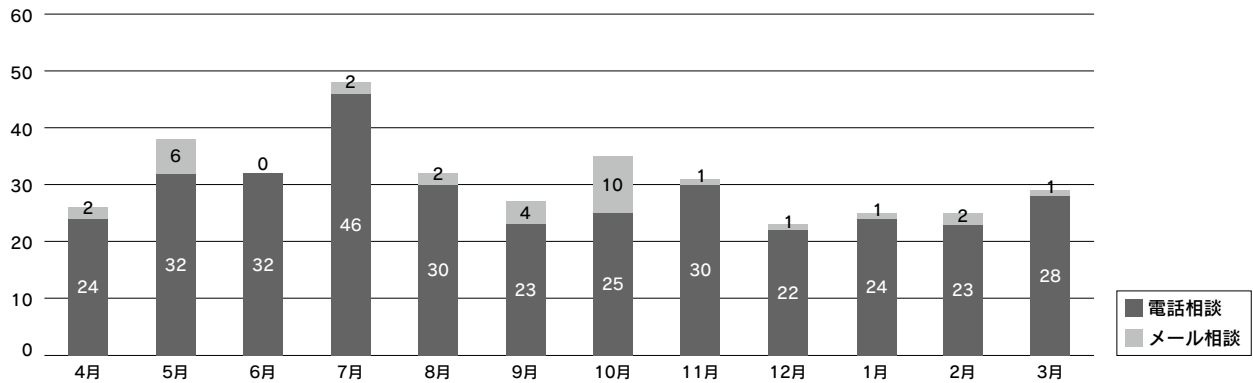
■相談者別の相談分野

(単位: 件)

相談者 \ 相談分野	団体	人材	催し	図書資料	視聴覚教材	資格	窓口紹介	先進事例	学習プログラム	その他	総 計
市町村(首長部局・教委等)	4	19	13	1	45	0	0	0	6	5	93
県(知事部局・教育事務所及び県立社会教育施設を除く教委)	15	3	3	0	11	0	0	2	4	2	40
教育事務所・県立社会教育施設	147	6	0	125	1	0	0	0	0	2	281
学校(幼・小・中・高・大・特)	0	7	0	0	164	0	0	0	125	2	298
団体・グループ	13	6	1	1	204	0	1	0	100	4	330
個人	0	5	0	1	1	0	0	0	1	6	14
県外	0	1	3	0	1	0	0	1	2	3	11
その他	0	2	0	0	5	0	0	1	13	10	31
年度累計	179	49	20	128	432	0	1	4	251	34	1,098

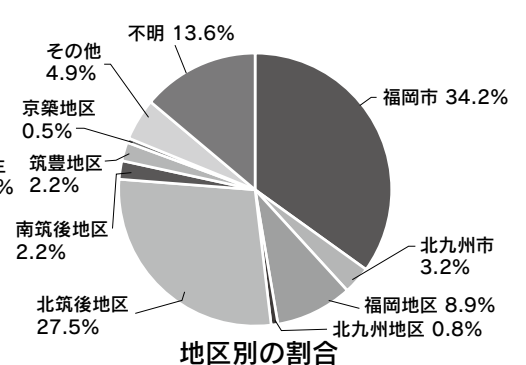
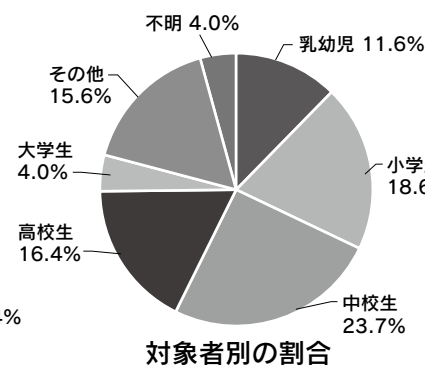
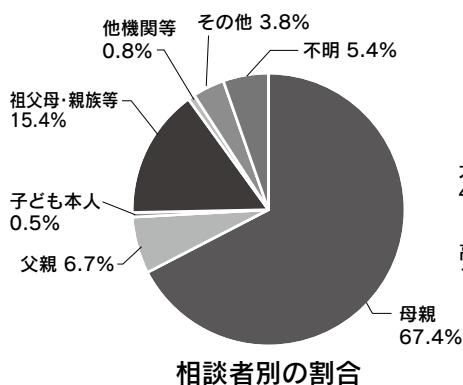
3 家庭教育相談「親・おや電話」(メール相談も含む)状況

① 月別相談件数



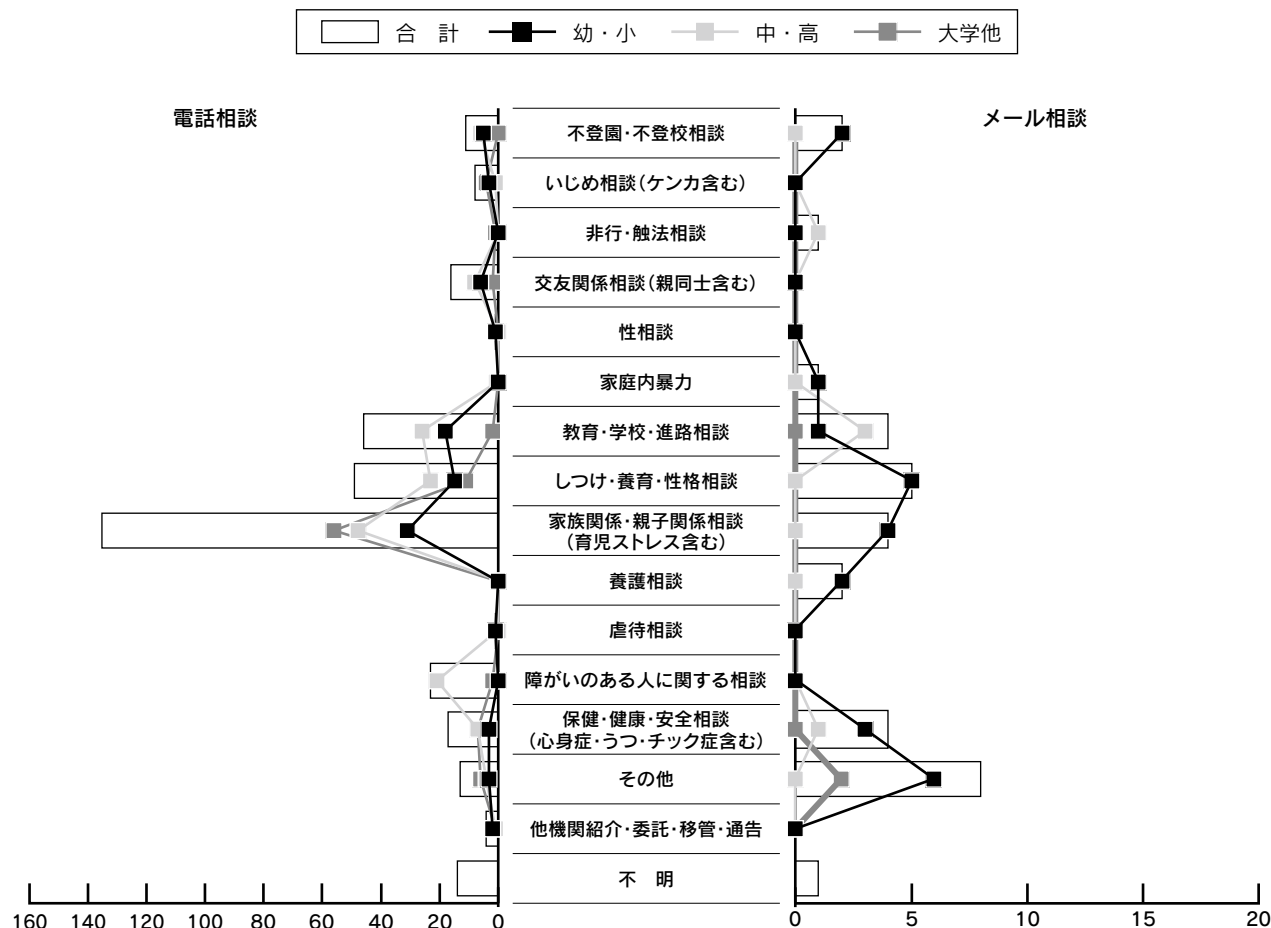
② 相談者・対象者・地区別相談件数

区分		電話相談	メール相談	合計	割合(%)
相談件数		339	32	371	100.0
相談者	母親	235	15	250	67.4
	父親	24	1	25	6.7
	子ども本人	2	0	2	0.5
	祖父・祖母・親族等	47	10	57	15.4
	他機関等	3	0	3	0.8
	その他	14	0	14	3.8
	不明	14	6	20	5.4
小計		339	32	371	100.0
対象者	乳幼児	22	21	43	11.6
	小学生	66	3	69	18.6
	中学生	86	2	88	23.7
	高校生	59	2	61	16.4
	大学生	15	0	15	4.0
	その他	77	3	80	15.6
	不明	14	1	15	4.0
小計		339	32	371	100.0
地区	福岡市	123	4	127	34.2
	北九州市	10	2	12	3.2
	福岡地区	32	1	33	8.9
	北九州地区	3	0	3	0.8
	北筑後地区	102	0	102	27.5
	南筑後地区	8	0	8	2.2
	筑豊地区	8	0	8	2.2
	京築地区	2	0	2	0.5
	その他	8	10	18	4.9
	不明	43	15	58	13.6
	小計	339	32	371	100.0



③ 内容別相談件数

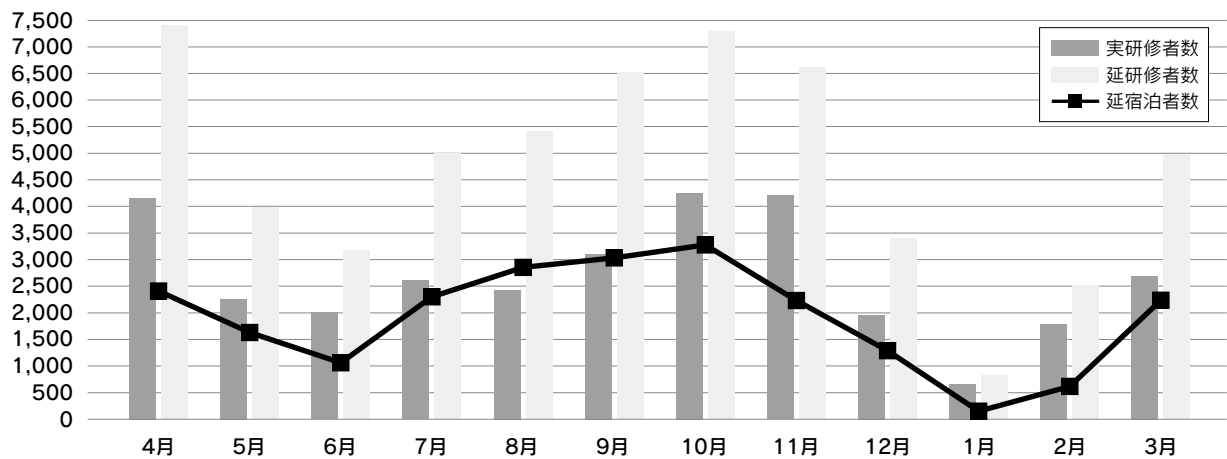
区 分	電話相談					メール相談				
相談内容	幼・小	中・高	大学他	合計	割合(%)	幼・小	中・高	大学他	合計	割合(%)
不登園・不登校相談	5	6	0	11	3.2	2	0	0	2	6.3
いじめ相談(ケンカ含む)	3	1	4	8	2.4	0	0	0	0	0.0
非行・触法相談	0	0	1	1	0.3	0	1	0	1	3.1
交友関係相談(親同士含む)	6	8	2	16	4.7	0	0	0	0	0.0
性相談	1	0	0	1	0.3	0	0	0	0	0.0
家庭内暴力	0	0	0	0	0.0	1	0	0	1	3.1
教育・学校・進路相談	18	26	2	46	13.6	1	3	0	4	12.5
しつけ・養育・性格相談	15	23	11	49	14.5	5	0	0	5	15.6
家族関係・親子関係相談 (育児ストレス含む)	31	48	56	135	39.8	4	0	0	4	12.5
養護相談	0	0	0	0	0.0	2	0	0	2	6.3
虐待相談	1	0	0	1	0.3	0	0	0	0	0.0
障がいのある人に関する相談	0	21	2	23	6.8	0	0	0	0	0.0
保健・健康・安全相談(心身 症・うつ・チック症含む)	3	7	7	17	5.0	3	1	0	4	12.5
その他	3	4	6	13	3.8	6	0	2	8	25.0
他機関紹介・委託・移管・通告	2	1	1	4	1.2	0	0	0	0	0.0
不 明				14	4.1				1	3.1
合 計	88	145	92	339	100.0	24	5	2	32	100.0



4 施設の利用状況

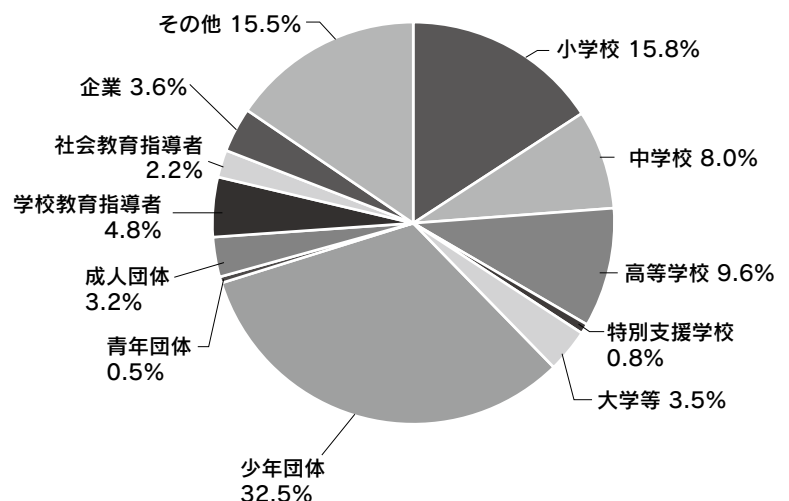
① 月別利用状況

区 分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実研修者数 A	5	4,586	3,258	2,593	3,012	2,459	3,178	3,534	3,477	2,136	844	1,268	2,393	32,738
	6	4,159	2,262	2,011	2,606	2,430	3,109	4,257	4,202	1,962	663	1,785	2,698	32,144
延研修者数 B	5	6,701	5,318	4,342	5,124	4,838	6,562	6,519	6,376	3,467	1,226	1,485	4,830	56,788
	6	7,403	3,981	3,168	4,996	5,414	6,519	7,284	6,607	3,406	817	2,522	4,978	57,095
実宿泊者数 C	5	1,077	1,794	1,079	1,657	1,445	2,251	2,424	1,890	952	346	169	1,201	16,285
	6	1,520	1,164	859	1,531	1,597	2,047	2,642	2,017	1,116	96	620	1,671	16,880
延宿泊者数 D	5	2,035	2,164	1,512	2,175	2,432	3,173	3,120	2,733	1,154	382	169	2,325	23,374
	6	2,410	1,628	1,060	2,302	2,853	3,035	3,276	2,230	1,292	153	620	2,235	23,094
団 体 数 E	5	100	71	81	120	99	68	82	69	53	39	62	79	923
	6	83	74	68	109	89	78	75	60	48	30	40	69	823
開 所 日 数 F	5	28	29	28	29	29	28	29	28	26	25	27	29	335
	6	28	29	28	29	27	28	29	28	26	25	26	29	332
宿泊可能日数 G	5	25	27	26	27	27	26	27	26	24	23	25	27	310
	6	26	27	26	27	25	26	27	26	24	23	24	27	308
一 日 平 均	研修者数 B/F → H	5	239	183	155	177	167	234	225	228	133	49	55	170
	6	264	137	113	172	201	233	251	236	131	33	97	172	172
	利 用 率 H/316 → I	5	76	58	49	56	53	74	71	72	42	16	17	53
	6	84	43	36	55	63	74	79	75	41	10	31	54	54
	宿泊人数 D/G → J	5	81	80	58	81	90	122	116	105	48	17	86	75
	6	93	60	41	85	114	117	121	86	54	7	26	83	75
	宿 泊 率 J/316 → K	5	26	25	18	25	29	39	37	33	15	5	27	24
	6	29	19	13	27	36	37	38	27	17	2	8	26	24

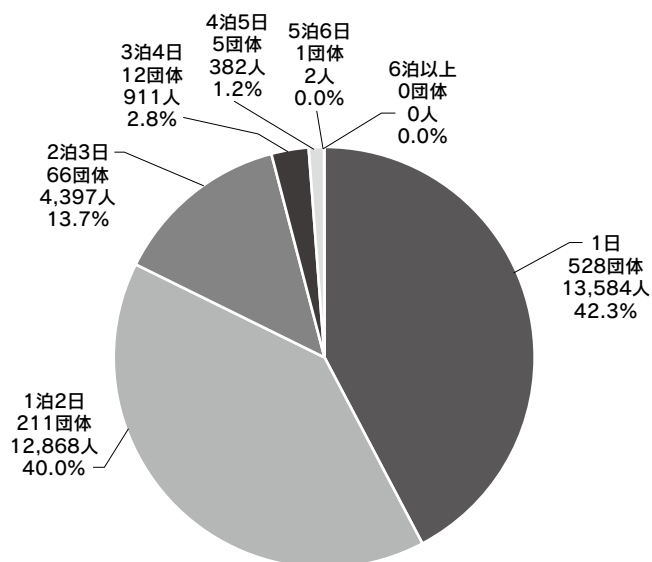


② 団体種別

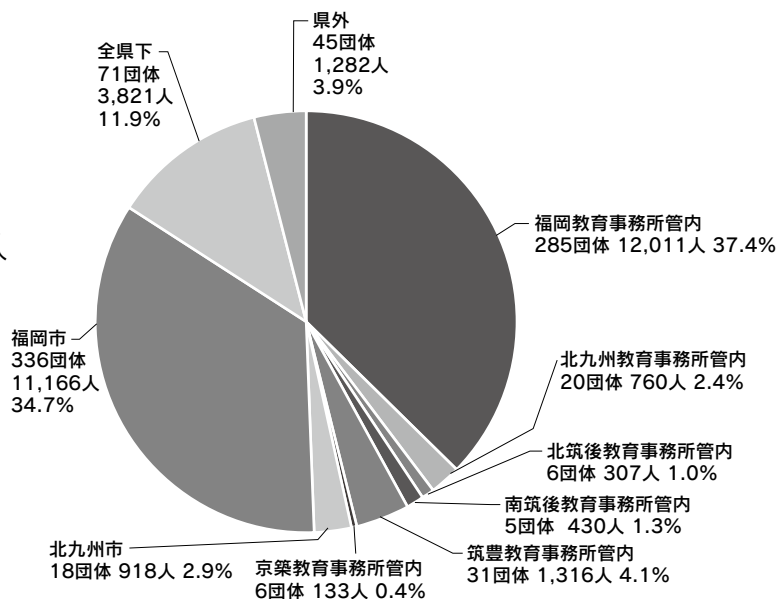
区 分		合 計		割合
		団体数	研修者数	
学 校 利 用	小 学 校	109	5,079	15.8
	中 学 校	49	2,567	8.0
	高 等 学 校	49	3,092	9.6
	特 別 支 援 学 校	15	256	0.8
	大学・短大・高専・専修・各種学校	36	1,120	3.5
小 計		258	12,114	37.7
少 年 団 体		310	10,437	32.5
青 年 団 体		8	159	0.5
成 人 団 体		79	1,016	3.2
学 校 教 育 指 導 者		22	1,575	4.8
社 会 教 育 指 導 者		22	711	2.2
企 業		34	1,153	3.6
そ の 他		90	4,979	15.5
合 計		823	32,144	100.0



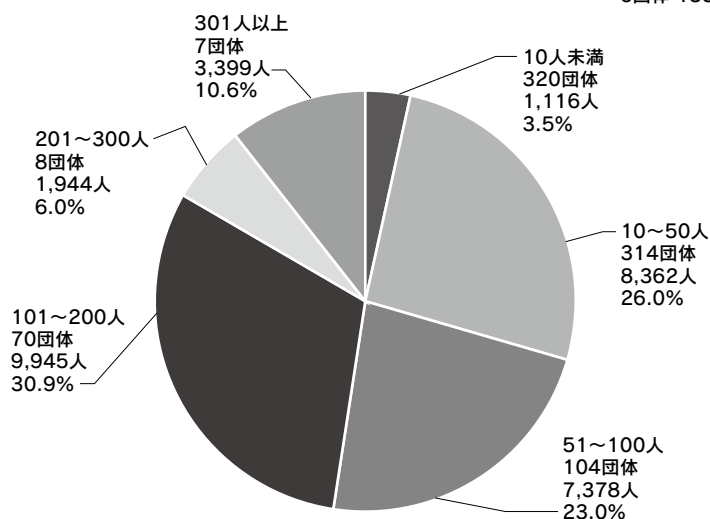
③ 一日研修・宿泊研修



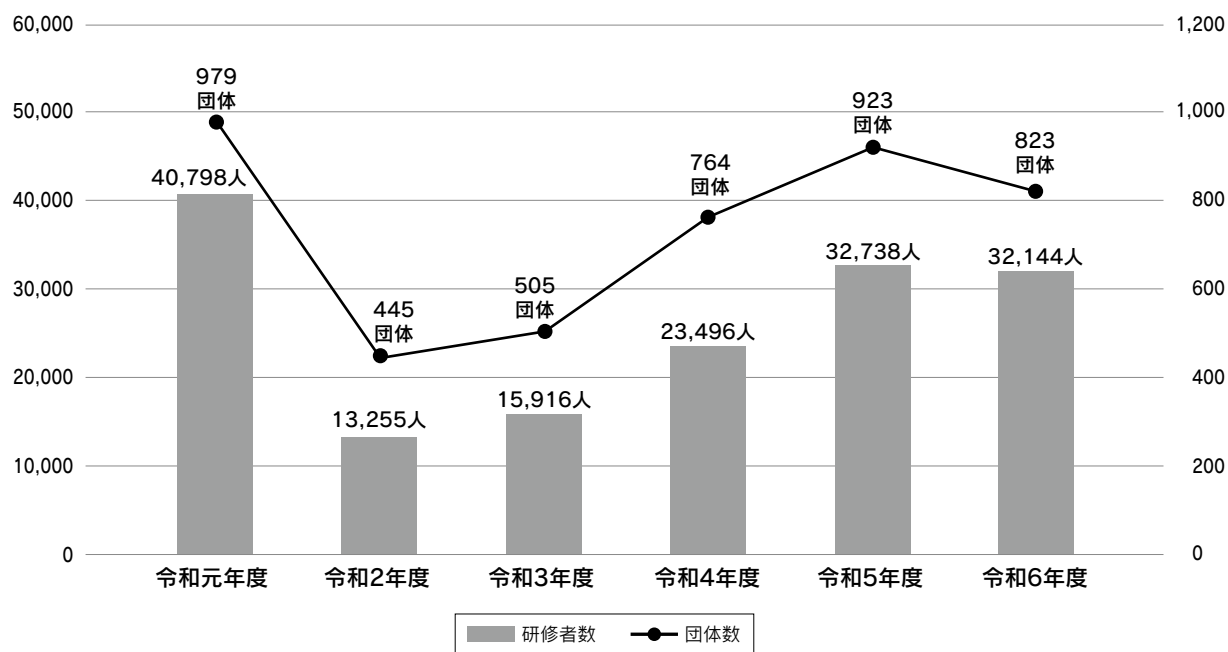
④ 地域別



⑤ 団体規模別



⑥ 年度別利用者及び利用団体数

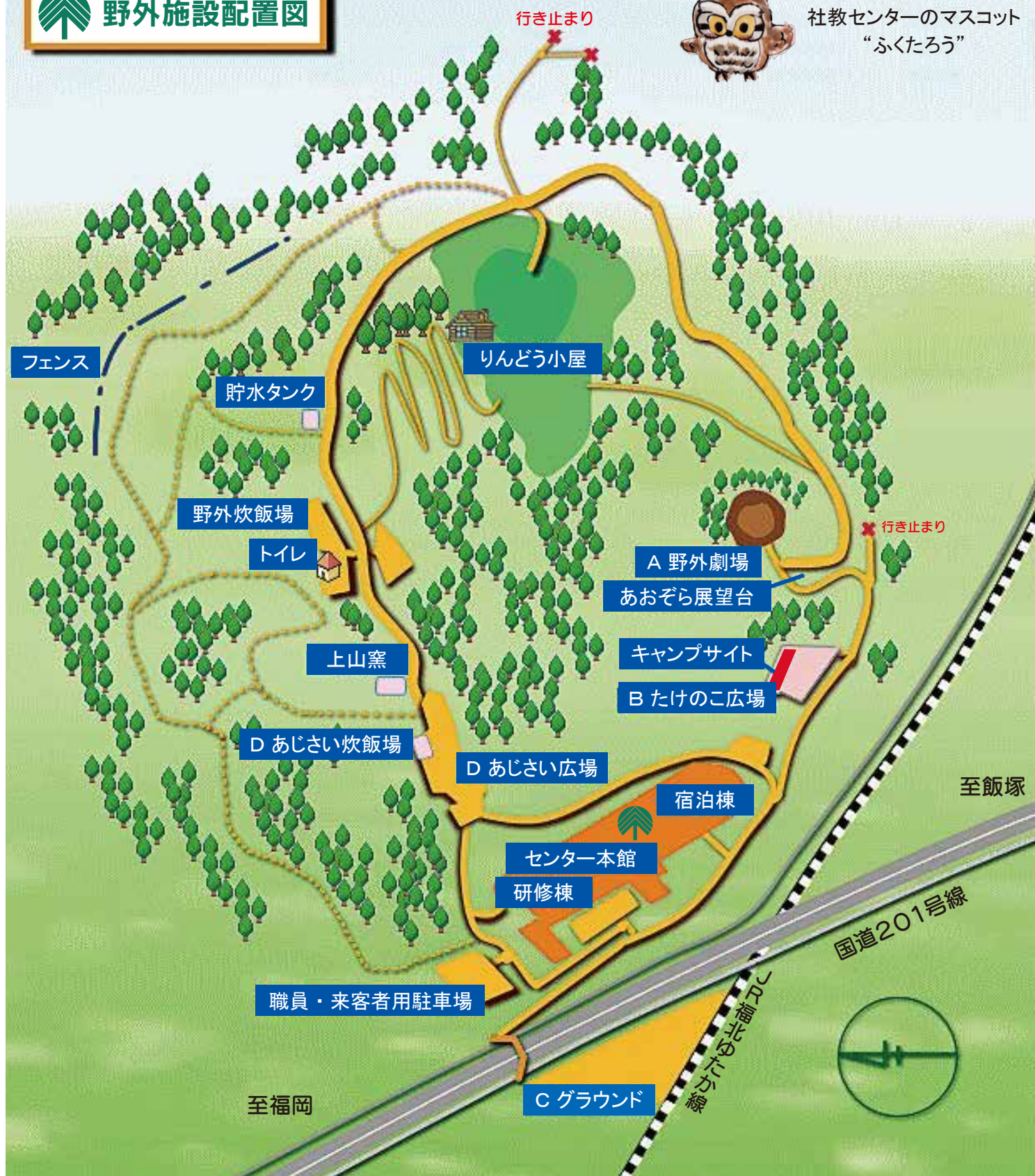




野外施設配置図



社教センターのマスコット
“ふくたろう”



A 野外劇場



B たけのこ広場

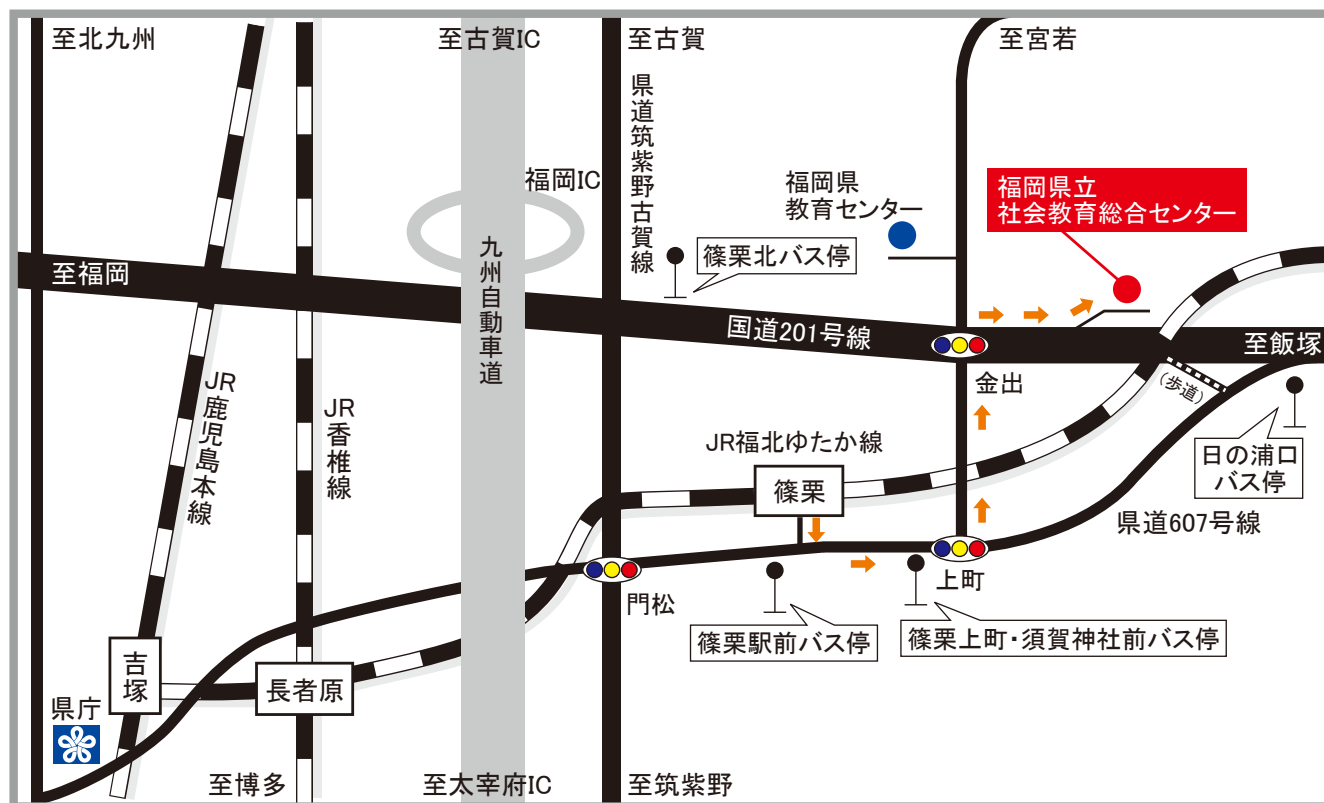


C グラウンド



D あじさい(広場・炊飯場)

●周辺地図・交通案内



※篠栗駅から徒歩でお越しの方は地図上のオレンジの矢印(→)に沿ってお進みください。
※略図のため、駅・バス停の位置関係と距離は比例していません。

■自動車でお越しの方は

九州自動車道・福岡 IC から 10 分

■電車でお越しの方は

JR 篠栗駅から徒歩 20 分、タクシーで 5 分

■バスでお越しの方は

西鉄バス 31 番又は 310 番「篠栗上町・須賀神社前」から徒歩 10 分

「日の浦口」から徒歩 5 分

都市高速(呉服町ランプ)経由「篠栗北」から徒歩 20 分

福岡県立社会教育総合センター

検索

〒811-2402 福岡県糟屋郡篠栗町大字金出3350-2

TEL 092-947-3511 FAX 092-947-8029

E-mail shakyoc@pref.fukuoka.lg.jp

URL <https://www.fsg.pref.fukuoka.jp/center/index.html>

●家庭教育相談「親・おや電話」 TEL 092-947-3515

●視聴覚ライブラリー TEL 092-947-3514

●ふくおか社会教育ネットワーク

<https://www.fsg.pref.fukuoka.jp/>
社会教育に関する最新情報の提供と
社会教育関連機関の紹介をするサイトです。



●ふくおか子育てパーク

<https://www.kosodate.pref.fukuoka.jp/>
子育てを学ぼう! 毎日の子育てが楽しくなる
子育て情報満載ホームページ



●社会教育総合センター Instagram

主催事業等の情報提供や、施設や周辺の
自然、活動の様子を紹介をしています。

